

平成28年度 指定管理者施設管理評価シート

部	文化産業観光部	課	文化振興課
---	---------	---	-------

施設名称	〔5〕 東京都台東区立一葉記念館					
指定管理者の名称	公益財団法人台東区芸術文化財団	指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営					
(2)類似施設の管理実績	文化施設5箇所					
(3)経営状況	27年度決算 歳入 617,374,153円 歳出 547,768,187円 収支差額 69,605,966円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区竜泉3-18-4					
(2)設置目的	樋口一葉は、竜泉寺町に住み、その体験を元に『たけくらべ』を執筆するなど、台東区にゆかりが深い作家である。その一葉に関する資料及び明治期の資料を展示公開することにより、区民文化の発展向上を図る。					
(3)利用者	区民ほか					
(4)開館日・時間	開館日：休館日（月曜日 / 12月29日～1月3日 / 特別整理期間等）を除く 開館時間：午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）					
(5)規模	延べ床面積861.04㎡ 鉄筋コンクリート造地上3階地下1階、塔屋、展示室、 収蔵庫、学芸研究室、展示準備室、事務室、エントランスギャラリー、倉庫、研修室、 小会議室					
(6)人員体制	7名 常勤固有職員（1）派遣職員（1）再雇用（1）研究員（1）専門員（3）					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	樋口一葉に関する資料を展示公開、施設の利用に関する事業。施設、付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓・その他環境整備などの事業。施設使用料徴収などの事業。					
(2)自主事業	特別展・企画展、一葉祭（記念講演・朗読、ボランティアと行く「たけくらべ」ゆかりの地めぐり）、特別講座（朗読サロン、文学講座、くずし字解読講座、文化カレッジ、朗読会）、文化ボランティアガイド事業。					
4. 予算決算の推移						
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算	委託料	19,014,000	17,896,000	16,131,000	17,365,000	16,874,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	19,014,000	17,896,000	16,131,000	17,365,000	16,874,000
決算	委託料	14,331,580	15,957,861	15,920,386	16,626,824	15,376,861
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	14,331,580	15,957,861	15,920,386	16,626,824	15,376,861
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	
開館日数	日	301	299	295	297	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度	
入館者数	人	16,000	13,555	15,249	16,686	

7. 平成27年度評価結果に対する現在までの取組み

前年に引き続き、集客の見込まれる酉の市の日の開館時間延長に加え、桜の開花時期に合わせた春の臨時開館を行うなど、入館者増に向けた取組みを行った。また、企画展・特別展の間のミニ企画展の開催、例年一葉祭で好評を博しているボランティアガイドによる「ゆかりの地めぐり」を一葉祭期間以外でも実施するなど来館者ニーズに沿った事業を展開した。

8. 評価項目
 3: 協定等の水準を上回っている。 0: 協定等の水準を下回っている。
 2: 協定等の水準どおりである。 -: 評価対象外項目。
 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.2]	(a)施設の目的達成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[3]
	(b)サービス水準	[2]	(g)自主事業の成果	[3]
	(c)職員配置	[2]	(h)個人情報保護	[2]
	(d)職員研修	[2]	(i)緊急時対応	[2]
	(e)案内・接遇	[2]	(j)警備・防犯体制	[2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]
	(b)備品の管理	[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]
	(c)清掃・衛生管理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]
	(d)施設の修繕	[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.6]	(a)利用者・第三者機関の評価	[2]	(d)利用しやすい環境整備	[3]
	(b)苦情・要望への対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[3]
	(c)利用者数等の目標達成	[3]		
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行	[2]	(c)収支計画の達成	[2]
	(b)管理経費の効率化	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価
 S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	S	たけくらべ発表120周年記念として「たけくらべ」映画会の開催や企画展・特別展の間のミニ企画展の実施など積極的な事業を展開した。さらに3週にわたり春の臨時開館を実施するなど来館者サービスの向上に努めた。
(2)施設の維持管理	A	備品及び物品の管理は適切になされており、施設の修繕についても、常に区と連絡を取り合い、軽微なものについては基本協定書に基づき管理業務経費で行っている。
(3)利用者の満足度	S	連携協定を結んでいる実践女子大学准教授による記念講演や地元人形店の協力による一葉をテーマにした木目込人形展など関係団体との連携を図った事業を実施した。また、人気の「たけくらべゆかりの地めぐり」を一葉祭期間以外にも実施し、好評を博した。
(4)収入支出	A	事業の効率化に努め、適正に予算の執行がなされている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

良好

地域との関わりや連携協定を生かした事業の充実、来館者のニーズに沿った事業への取組み、集客が見込まれる酉の市の日の開館時間延長や春の臨時開館などの運営努力が更なる入館者増に繋がった。

11. 平成28年度評価結果に対する今後の対応

酉の市の日の開館時間延長などの来館者サービスを継続していくのと同時に、今後もニーズに沿った事業を展開し、来館者の満足度の維持、関係団体との連携の充実に取り組んでいく。